

# 咲き誇れ秋田

日銀秋田支店長の目

今夏の全国高校野球選手権大会では、仙台育英高校が全国の頂点に立ち、深紅の大優勝旗がついに白河の関を越えた。これが秋田の高校ならと悔しく思った方もいるかもしれないが、同じ東北人として、大変勇気づけられた方が多かったのではなからうか。

実は10年以上前に、もつと若い年代で、白河の関どころか、雄勝峠を越えて、秋田が全国の頂点に立ったものがある。それは全国学力・学習状況調査である。この調査は、2007年度から全国の国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生の児童生徒を対象に実施され、都道府県別の平均正答率などが公表されている。「秋田県の児童生徒が全国トップクラス」との報道を、皆さんも一度は目にすることがあると思う。

では、47都道府県を仮に1ク

## 「秋田さん」の学力

ラスの児童生徒とみた場合、「秋田さん」の学力はどのくらいすごいのだろうか。それを知る手掛かりの一つに学力偏差値がある。

これは母集団の中での相対的な位置付けを知るもので、皆さんも模擬試験で自分の学力偏差値をみて、希望校に合格できるかハラハラした経験があるかと思う。

長期時系列で把握可能な国

## 数学の巻き返しに期待

語、算数・数学の学力偏差値を試算してみると、まずは秋田さんの国語力のすさまじさに驚く。小学・中学校とも15年間、一貫してほぼクラス1位。学力偏差値は75を超え、次集団の右



川さんや福井さんとは格の違いすらある、まさに天才児。

では算数・数学力はどうかと、ここ10年ほどの学力偏差値は70前後で、石川さん、福井さんとともにクラストップ3に名を連ねていた。ところが21年度以降、なぜか算数・数学とも学力偏差値が低下し、特に数学は全国トップレベルと言えない水準まで低下してしまった。ちなみに石川さん、福井さんは引き続きク

川さん、福井さんは引き続きク

一方、福井さんは数学になる一段と成績が伸びており、クラストップ共通の悩みとも言えない。秋田さんの数学力には、かなりマズいことが起きているように思うが、私を知る限り、これを指摘する当地の教育関係者の声は聞かない。

私が秋田さんの数学力に危機感を有するのには理由がある。それは、世の中で数学力の重要

後、高度な人材が必要になる分野ともいえる。そう考えると、世の中ではクラスの福井さんや、現在公開中の映画「沈黙のパレード」の湯川先生のような数学力に優れた人材が求められているといえる。

現在の円安局面が続けば、今後、間違いなく生産拠点の国内回帰や海外企業の日本進出の動きが出てくる。その際、国内外の企業経営者に今後の進出先の一つとして秋田を意識させるには、世の中のトレンドである数学力でトップクラスの人材を輩出し続けることが重要である。

うれしいことに、最新の学習状況調査をみると秋田県の生徒の数学好きの割合は、まだ全国平均、福井県を上回っている。秋田さんの「数学愛」が冷めぬうちに、教育関係者の総力をかけて再び数学力をトップクラスに戻してほしいと思うのは私だけだろうか。秋田さんの巻き返しに期待したい。

（真鍋隆・日本銀行秋田支店長）

〈随時掲載〉